

取組編 | REPORT 2025

宮古信用金庫の 現況

2024.4 ▶ 2025.3



いつもふれあい

宮古信用金庫



ごあいさつ

2025年7月
宮古信用金庫
理事長 齋藤 浩司

皆様には平素より格別のお引立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

宮古信用金庫の経営内容や取組みにつきまして、より一層ご理解いただくとともに、引き続きご利用いただけることを願ひまして、ディスクロージャー誌「宮古信用金庫の現況REPORT2025」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますよう、ご案内申し上げます。

当金庫は、地域の人々の相互扶助の精神に基づいて設立された協同組織金融機関であり、地域と共生する使命共同体として、「地域社会の発展と豊かな暮らしづくりに貢献する」ことを基本理念に掲げるとともに「社会に対する貢献」、「調和ある経営」、「揺るぎなき基盤」、「誇り得る職場」の4項目を経営方針として定め、事業を運営しております。

当金庫では2021年4月から2026年3月までの5年間を実施期間とする中期経営計画「Active Plan2021」に取り組んでおります。本計画において「地域社会の発展に向けて、持続可能な経営態勢及び経営基盤を構築する」を基本方針として、地域活性化への取組み推進、収益力強化と経営合理化の推進及び職場環境の整備と人材の育成・確保を経営目標に定めております。計画に掲げた経営目標に対して各種施策を設定し、着実に遂行するとともに、震災復興から発展にステージを移す地域経済の活性化に向けて役職員が一丸となってさまざまな取組みを実施してまいります。

2020年に宮古市の「商業活性化・賑わいづくり事業」の一環として宮古商工会議所と連携して商業イベントの開催や空き地・空き店舗の活用拡大に取り組んでおります。また、宮古市と山田町とは地方創生に係る連携協定を締結、加えて宮古商工会議所と釜石商工会議所とは地域の産業復興に資するための連携協定を締結しております。当金庫は、こうした連携を活用し、意見交換を実施する等地方公共団体や関連団体を巻き込み地域の活性化に取り組むとともに地域に必要な施策等に注力してまいります。また、地域の防災意識の向上を企図した防災定期預金「そなえ」を販売し、地域の関連団体へ防災用品を寄付する活動を行っております。引き続き地域に必要な施策や商品の開発等に注力し、お客様のニーズに応えてまいります。

地域を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進展に加えて昨今の物価上昇等もあり厳しくなっておりますが、当金庫は金融サービスを通じてお客様の課題やニーズに積極的に寄り添い、地域の皆様にとってなくてはならない金融機関を目指してまいります。



プロフィール

創立	1927年9月22日
本店所在地	岩手県宮古市向町2番46号
電話番号	0193-62-1021
会員数	9,564人
出資金	5,277百万円
預金残高	63,842百万円
貸出金残高	25,204百万円
店舗数	6店舗
自己資本比率	51.99%
役職員数	70人

(2025年3月31日現在)

経営理念

当金庫は創業以来「地域社会の発展と豊かな暮らしづくりに貢献する」を基本理念として、地域経済の成長・発展とともに歩んでまいりました。

いつまでも、地域の皆様から「愛され」、「親しまれる」地域の金融機関として、健全経営に徹し、より良質な資金の供給とサービスの提供に努めてまいります。

経営方針

【基本方針】

国民大衆並びに中小企業者の地域金融機関としての使命に徹し、貯蓄の増強に努め、円滑なる金融を通じて地域経済の育成発展と生活の安定向上に貢献する。

1. 社会に対する貢献

社会の一員として常に感謝し、金融を通じて地域社会に奉仕する。

2. 調和ある経営

金庫は常に会員、一般取引者並びに役職員の利益を尊重し、その何れに対しても、公正で調和のとれた経営を行う。

3. 揺るぎなき基盤

創意と革新によって経営の安定と不断の発展を図り、揺るぎなき基盤を築くため、常に貯蓄の増強に努める。

4. 誇り得る職場

総和の精神を以て限りなき前進を図り、一生を賭して悔いのない誇り得る職場とする。

シンボルマークについて



円は地域を、Mは宮古の頭文字とお客様・会員・役職員の結びつきをなぞらえ未来に向かって限りない躍進とフレッシュさを表現しております。

地域に根ざした金融機関として、皆様と共にいつまでもフレッシュに発展し続けることの願いを込めデザインされたもので、マリンプルーの色調はさわやかさと、明るさをイメージしております。

宮古信用金庫の現況 REPORT2025

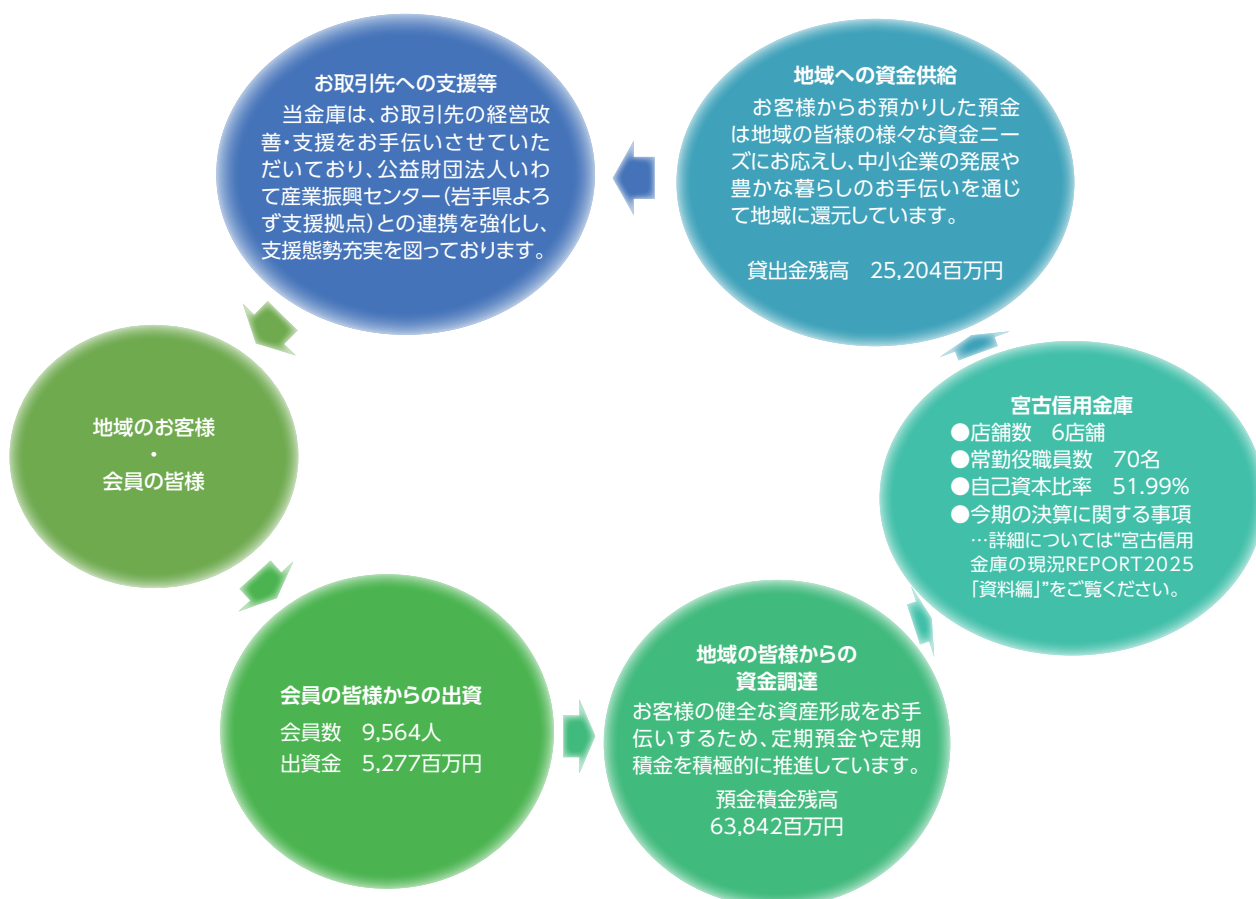
CONTENTS

宮古信用金庫と地域社会	3
2024年度決算ダイジェスト	4
当金庫の取組み	6
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み	
地域貢献への取組み	
サービスの向上・改善に関する取組み	
役員・組織図	10
営業地区・店舗網	12
店舗ATM・店舗外ATMのご案内	13
信金中央金庫	14

宮古信用金庫と地域社会

宮古信用金庫は、創業以来「地域社会の発展と豊かな暮らしづくりに貢献する」ことを基本理念としております。そして「国民大衆並びに中小企業者の地域金融機関としての使命に徹し、貯蓄の増強に努め、円滑なる金融を通じて地域経済の育成発展と生活の安定向上に貢献する。」ことを経営方針とし、地域に根ざした事業活動に努めております。

当金庫は、三陸沿岸地域の復興並びに経済活性化に向けた取組みに尽力し、地域になくてはならない金融機関として、皆様とともに頑張っております。



信用金庫の役割について

信用金庫は、地域の皆様による協同組織（会員制度）の地域金融機関であり、お預かりしたお金は地元の事業者や個人の方々にご利用いただいております。会員や利用者の利益を優先し、地域に貢献することを使命としており、次のような特色を持っています。

1. 協同組織金融機関

地域の方々には会員・利用者になっていただき、お互いが一体となって地域の繁栄を図る会員制度による協同組織の金融機関です。（銀行のように株式会社ではありません）

2. 中小企業専門金融機関

従業員300人以下または資本金9億円以下の事業者と個人の方々の専門金融機関です。（大企業にはご融資できません）

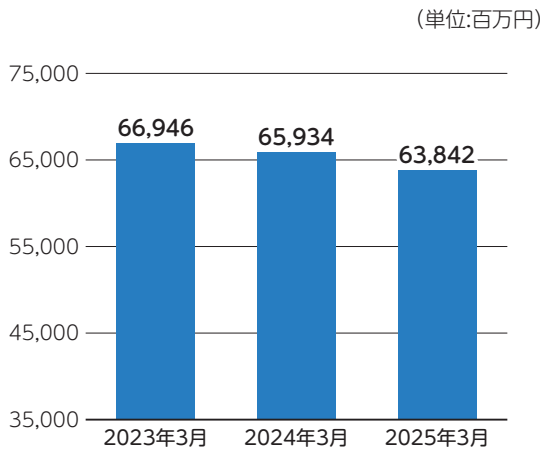
3. 地域専門金融機関

営業地域が定められている地域専門金融機関です。（営業地域外の方にはご融資できません）

このように信用金庫は地域の方々とともに発展していく、より地域性・公共性の高い金融機関であるといえます。

2024年度決算ダイジェスト

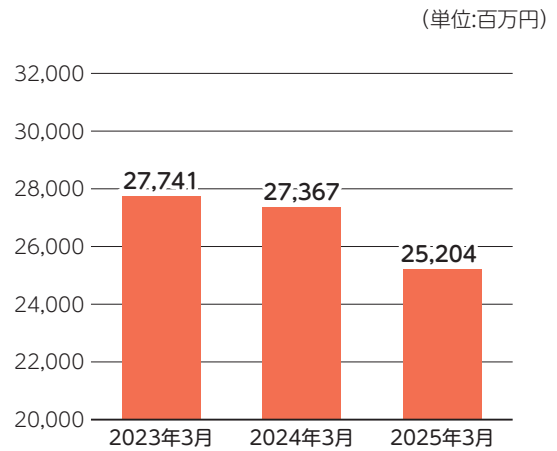
預金の状況



2025年3月末の預金積金残高は、個人預金が前期比1,257百万円減少、法人預金は同835百万円減少した結果、全体で同2,092百万円減少の63,842百万円となりました。

当金庫では、お客様の着実な資産形成を応援するため各種預金商品を取り揃えております。

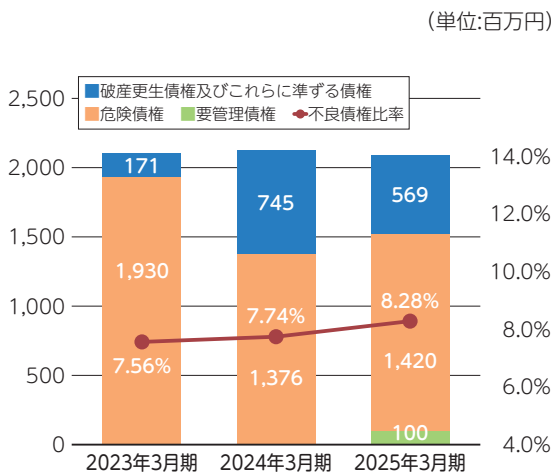
貸出金の状況



2025年3月末の貸出金残高は、金融・保険業向けが前期比360百万円増加しました。一方で、個人向けは同101百万円減少、法人向けは地方公共団体、建設業、不動産業及び製造業を中心に同761百万円減少し、全体では同2,163百万円減少の25,204百万円となりました。

当金庫では、地域の中小事業者や個人のお客様の様々な資金ニーズに幅広く対応するため各種融資商品を取り揃えております。

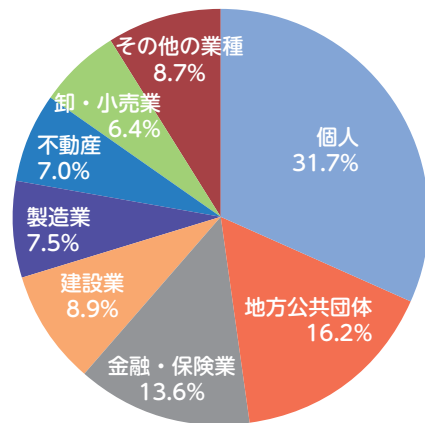
不良債権の状況 (金融再生法開示債権)



不良債権残高は、危険債権、要管理債権等が前期比144百万円増加したものの、破産更生債権が同175百万円減少したため全体で同31百万円減少の2,090百万円となりました。一方、貸出金残高も減少したことから、不良債権比率は、同0.54ポイント上昇の8.28%となりました。

当金庫では(株)東日本大震災事業者再生支援機構等の外部機関と連携しながら積極的に事業再生等の支援に取り組んでおります。

貸出金業種別内訳

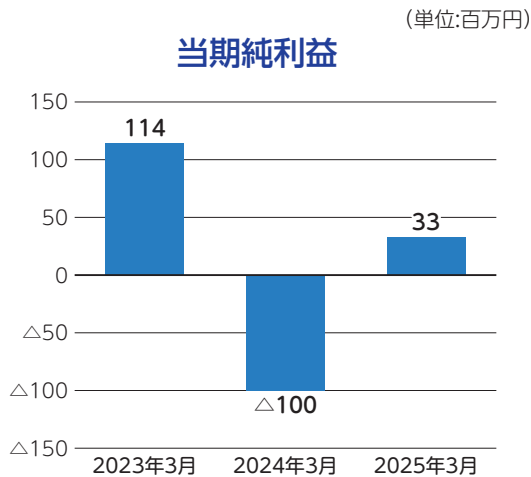
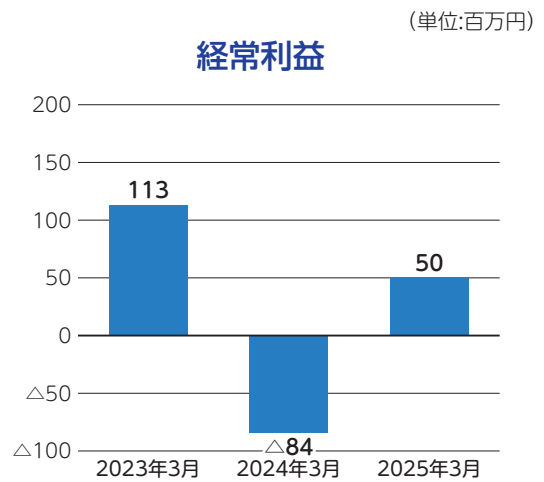
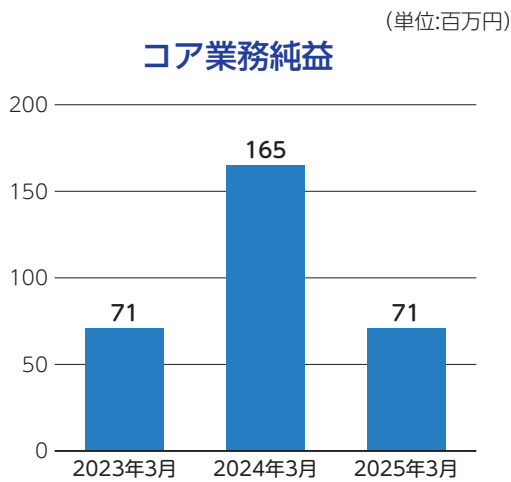


当金庫では、地域の皆様の資金ニーズに幅広く対応し、特定の業種に融資が偏ることのないよう、貸出先の業種分散に努めております。

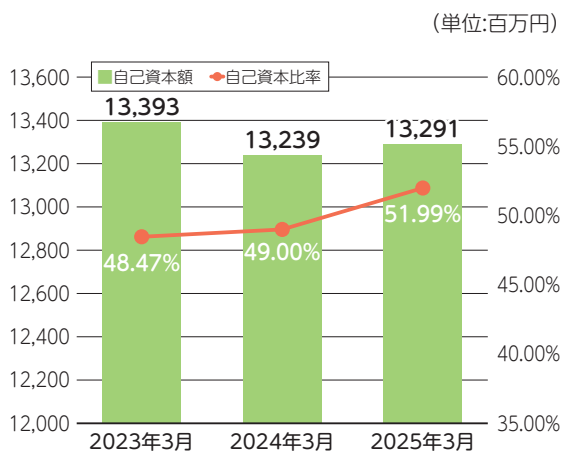
また、大口融資に偏ることなく、多くのお客様にご利用いただけるよう、小口多数を原則とした融資を心掛けております。

収益の状況

収益は、預金金利の上昇等により、コア業務純益は前期比94百万円減少の71百万円となりました。一方、経常利益は同134百万円増加の50百万円、当期純利益は同133百万円増加の33百万円となりました。



自己資本の状況



自己資本比率とは、総資産に対する自己資本の割合のことで、金融機関の健全性や安全性を示す代表的な指標のひとつです。

自己資本額は、前期比52百万円増加の13,291百万円となりました。また、リスクアセットが同1,456百万円減少したことにより、自己資本比率は同2.99ポイント上昇の51.99%となり、国内基準の4%を大きく上回る水準を維持しております。

当金庫の取組み

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み

1. 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫は、地域の中小企業及び個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に全力を傾注し取り組んでまいります。

2. 中小企業の経営支援に関する態勢整備

当金庫は、お客様へのきめ細やかな経営改善支援を行うため、本部に「総合支援部」を設置し、金融円滑化に向けた態勢整備に努めております。また、職員を対象とした「目利き能力」（お客様の事業価値を見極める能力）を向上させるため、外部研修への参加、中小企業者を対象としたセミナー等を実施しております。

3. 中小企業の経営支援に関する取組み状況

■創業・新事業開拓支援に関する取組み

▶外部機関との連携による支援

当金庫は、営業店と総合支援部が連携し、新規創業や新たな事業分野の開拓を目指す事業者に対して、経営相談、指導・助言、セミナーの開催及び経営情報の提供等、事業者が抱える悩みや課題等を解決するための支援の取組みを積極的に行っており、この取組みの実効性を高めるため、岩手県信用保証協会及び商工会議所等の外部機関との連携強化を図っております。中小企業診断士による新規創業計画策定支援や岩手県信用保証協会の専門家派遣制度を利用する等、外部の専門的な知見、ノウハウ及び機能を積極的に活用しており、2025年3月末現在における専門家派遣実績は、83件となっております。

▶創業等事業者向け商品の提供

当金庫では、新規創業等を目指す事業者に対する資金供給手段として、岩手県の制度融資「いわて起業家育成資金」を活用しております。

▶創業スクールへの講師派遣

宮古商工会議所が主催する「創業スクール」において、創業希望者に対して、当金庫職員が講師として創業後の金融機関との取引方法や具体的な支援事例等について個別に面談を行い、創業に向け参考となる情報を提供しております。

■販路開拓・拡大等支援の取組み

▶各種ビジネスフェア・商談会への出展、参加支援

当金庫は、お取引先の新たな販路や仕入先の開拓・拡大及び事業の拡大等を支援するための取組みとして、信用金庫業界の全国ネットワークを活用して開催されるビジネスフェア等への出展機会をお取引先に紹介・提供しております。

ビジネスフェア・商談会名	実施時期	主催	参加企業数
しんきんコネクトプレミアム商談会	6月	信金中央金庫	1社
さいしん特産品オンラインショップ	10月	埼玉縣信用金庫	3社
ビジネスマッチ東北2024	11月	東北地区 信用金庫協会ほか	2社
“よい仕事おこし”フェア	12月	“よい仕事おこし” フェア実行委員会	1社
計			7社



「ビジネスマッチ東北2024」主催：東北地区信用金庫協会ほか（2024.11.14 会場：仙台 夢メッセみやぎ）

■経営改善支援

▶岩手産業復興機構及び株式会社東日本大震災事業者再生支援機構の活用

当金庫は、営業店と総合支援部経営相談課が連携し、岩手産業復興機構及び株式会社東日本大震災事業者再生支援機構等を活用した先や貸付条件の変更先等、経営改善が必要であると判断したお取引先に対して、定期的な訪問活動等を通じた経営実態の把握、経営改善に係る継続的な指導・助言等を行っております。

▶株式会社商工組合中央金庫と「事業再生・経営改善支援に関する業務協力契約」を締結

2021年9月1日に当金庫と株式会社商工組合中央金庫は中小企業へのソリューション提供を強化するため、「事業再生・経営改善支援に関する業務協力契約」を締結しました。本契約により、地域産業や雇用を担うお取引先に対して、事業再生や経営改善支援の分野で両機関の連携を一層深め、協調して中小企業の企業価値向上をサポートしてまいります。

▶宮古信用金庫若手経営者会「みやしんNext」の運営

地域の次世代を担う若手経営者や後継者の方々を支援するため、若手経営者組織「みやしんNext」の運営を行っております。新しい時代の経営環境に適応するよう、経営ノウハウの習得に役立つ各種研修のほか、会員相互の交流を活性化するための異業種交流会を開催しています。

これまで税理士等の専門家による講演会・セミナーを21回開催（2025年3月末現在）し、後継者の育成にも積極的に取り組んでおります。

今後も地域の将来を担う、若手経営者の経営力向上と事業拡大に向けた支援を継続してまいります。



▶「みやしんパートナーズ制度」の活用

お取引先の経営にとって有意義な情報を効果的に周知するべく2021年12月に「みやしんパートナーズ制度」を開始しております。当該制度に登録したお取引先に対して当金庫の商品や連携先の各種サービス、補助金等に係る情報等をメールにて発信するものであり、2025年3月末現在の登録数は167件となっております。経営支援に資する各種商品・サービスの周知及び利用促進に努めてまいります。

■合同相談会の開催

▶「岩手県よろず支援拠点」と連携

2015年2月より、公益財団法人いわて産業振興センター内に設置されている「岩手県よろず支援拠点」と連携し、お取引先の個別合同相談会を当金庫にて定期的で開催しております。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合同相談会 開催回数	15回	15回	18回	18回	17回	15回	12回	12回	12回	10回
相談者（事業者）数	26先	23先	29先	38先	26先	39先	23先	23先	19先	13先
のべ相談者（事業者）数	49先	46先	51先	60先	44先	53先	30先	39先	36先	24先

■経営者保証に関するガイドラインの活用状況

▶「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からのお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新規に無保証で融資した件数	110件	39件	62件	120件	91件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	13.69%	11.30%	15.23%	41.81%	38.72%
保証契約を解除した件数	0件	0件	0件	1件	0件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件	0件	0件	0件	0件

地域貢献への取組み

■防災定期預金「そなえ」取扱いに伴う、防災用品の寄付

当金庫は、地域の防災力向上と地域住民の防災意識醸成による安心して住み続けられるまちづくりを目指し、2021年度から防災定期預金「そなえ」の販売を行っております。

当該定期預金は預入額の0.02%相当額にあたる防災用品を当金庫が寄付するものであり、2024年度はポータブル電源セットを宮古商工会議所様へ寄贈いたしました。

当金庫は今後も、地域の防災力向上など地域支援に係る活動を継続してまいります。



■『子どもたちによる絵画展』の開催

当金庫は、観光振興・地域づくり運動を応援するべく、2022年度より『子どもたちによる絵画展』の取組みを行っております。

第3回目となる2024年度は、遊覧船「宮古うみねこ丸」を題材とし、宮古市立鍛ヶ崎小学校（3年生：19名）にご参加いただき、写生会を実施。その後、地域の皆様にご覧いただけるよう『子どもたちによる絵画展』を開催し、たくさんの方に足をお運びいただきました。



■「みやしん防災教室」の開催

当金庫は、地域の防災力向上と地域住民の防災意識醸成による安心して住み続けられるまちづくりを目指しています。2024年度は、震災を知らない子供たちの防災意識を醸成するため、損害保険ジャパン株式会社様のご協力のもと、被災地域にある認定こども園そけい幼稚園で「みやしん防災教室」を開催しました。東日本大震災から14年が経過し、復興が進んだ一方で、時間の経過に伴い記憶や関心が薄れ、震災の風化が懸念されていることから、当金庫では、今後も地域の防災力向上など地域支援に係る活動に取り組んでまいります。



■ マネースクール・キャリア教育への講師派遣

当金庫は、金融や信用金庫の役割への理解を深めてもらうことを目的として、営業区域内の学校を対象にマネースクールへの講師派遣やキャリア教育等へ参加、職場体験の受け入れ等を行っております。



キャリア教育・マネースクール



みやこタウンに参加（主催：みやこタウン実行委員会）

サービスの向上・改善に関する取組み

相続手続き共通化への加入

金融機関における相続手続きは、煩雑であるうえ、各金融機関毎に提出する書類や書式に違いがあるため、お客様へのご負担が課題となっております。こうしたご負担を軽減し、利便性を向上するため、当金庫を含めた岩手県信用金庫協会の会員6信用金庫は、岩手県に本店を置く株式会社岩手銀行、株式会社北日本銀行、株式会社東北銀行の三行による相続手続き共通化に加入いたしました。

当金庫は、今後とも顧客サービスの向上に一層努めてまいります。

通帳繰越機能を全ATMに設置

当金庫の全てのATMに通帳繰越機能を設置。営業時間帯に店舗へ来られないお客様も、休日を含めATM稼働時間帯に通帳繰越しが可能となっております。



しんきん通帳アプリの提供

普通預金口座（総合口座を含む。）のキャッシュカードをお持ちの個人のお客様が、無料でご利用いただけるスマートフォン専用アプリです。

保有口座を最大5口座まで登録でき、直近10回分の取引明細が確認できます。

なお、同アプリから通帳レス口座への切替もできます。



「ことら送金」の取扱い開始

「ことら送金」は、株式会社ことらが提供する少額の個人間送金サービスであり、同社に加盟する金融機関等の個人口座間において、スマートフォンアプリを利用して送金できるサービスです。

当金庫は2025年2月より取扱いを開始しております。

スマホ決済サービス「Bank Pay」の取扱い開始

当金庫は2025年2月より、スマホ決済サービス「Bank Pay」の取扱いを開始しております。

「Bank Pay」は日本電子決済推進機構が提供するスマートフォンアプリです。全国のBank Pay加盟店でのお買い物やご飲食代金お支払い時の「コード決済」や、少額の個人間送金サービス「ことら送金」をご利用いただけます。



【職員数・会員数・出資金】

	2020年度 (2021年3月末)	2021年度 (2022年3月末)	2022年度 (2023年3月末)	2023年度 (2024年3月末)	2024年度 (2025年3月末)
職員数	72人	75人	67人	63人	64人
（うち男性職員）	(37人)	(36人)	(30人)	(28人)	(27人)
（うち女性職員）	(35人)	(39人)	(37人)	(35人)	(37人)
平均年齢	38歳5ヵ月	37歳7ヵ月	39歳0ヵ月	38歳8ヵ月	37歳2ヵ月
平均勤続年数	17年7ヵ月	16年1ヵ月	15年7ヵ月	16年4ヵ月	16年7ヵ月

【会員数】

	2020年度 (2021年3月末)	2021年度 (2022年3月末)	2022年度 (2023年3月末)	2023年度 (2024年3月末)	2024年度 (2025年3月末)
個人	9,261	9,275	9,107	8,983	8,844
法人	738	736	733	730	720
合計	9,999	10,011	9,840	9,713	9,564

【出資金・配当率】

	2020年度 (2021年3月末)	2021年度 (2022年3月末)	2022年度 (2023年3月末)	2023年度 (2024年3月末)	2024年度 (2025年3月末)
出資金	5,299,529千円	5,295,169千円	5,288,167千円	5,282,471千円	5,277,493千円
配当率（普通出資）	1.00%	1.00%	1.00%	1.00%	1.00%
（優先出資）	0.00%	0.00%	0.01%	0.02%	0.01%

【人材育成】

人材育成の強化

お客様への提案力強化、サービス向上のほか将来の信用金庫経営を担う人材のマネジメント力の強化に向けて、研修や勉強会を積極的に行っております。

新入職員の教育訓練担当者制度

2019年度から新入職員への細やかなサポート及びモチベーション・業務スキルの向上を図るため「新入職員の教育訓練担当者制度」を導入しております。年齢の近い先輩職員が良き相談者として、新入職員の業務への不安を取り除けるよう取り組んでおります。

また、若手職員が安心して業務に携われる職場環境を構築するために、経験の豊富な先輩職員が、若手職員に対して職務知識、職務遂行能力の向上及び自己啓発の促進等を支援する「若手職員育成制度」を導入しております。

職員提案制度

当金庫は業務全般に対して、職員からの建設的な提案を奨励することにより、職員の業務参画意識を高めるとともに、業務の改善及び顧客サービスの向上を図ることを目的として職員提案制度を導入しております。

当金庫の業務運営やルール等の改善に特に貢献した提案が行われた場合は、表彰も行われます。

資格取得の奨励

当金庫は、コンサルティング機能の発揮や目利き力強化に向けた人材の育成を図るため、外部機関が主催する研修やセミナー等に職員を参加させるとともに、企業の財務分析等をテーマとした庫内研修、各種通信講座や資格試験の受検を奨励しております。また、ファイナンシャルプランナー等の公的資格のほか、金融に関する資格・試験等の取得も奨励しております。

【当金庫職員の主な保有資格】

2級ファイナンシャル・プランニング技能士、3級ファイナンシャル・プランニング技能士、証券アナリスト、宅地建物取引士、金融窓口サービス技能士、金融AMLオフィサー 等



営業地区・店舗網

(2025年7月末現在)

当金庫は、宮古市・釜石市・下閉伊郡全域・上閉伊郡大槌町を事業区域として、地元の中小企業者や個人が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

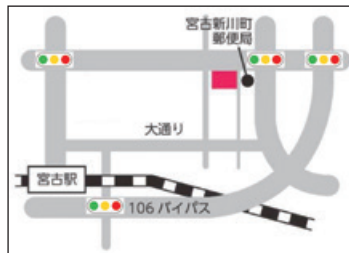
地元のお客様からお預かりした大切な預金は、地元で資金を必要とするお客様に融資をし、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

営業地区一覧

- 岩手県宮古市
- 釜石市
- 下閉伊郡山田町、岩泉町
- 田野畑村、普代村
- 上閉伊郡大槌町



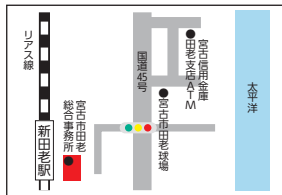
本部・本店・駅前支店



〒027-0082 宮古市向町2-46
 本店・駅前支店 TEL 0193-62-1021 FAX 0193-64-4430
 本部 TEL 0193-62-2400 FAX 0193-63-2500
 ・スポーツくじ払出し業務取扱店

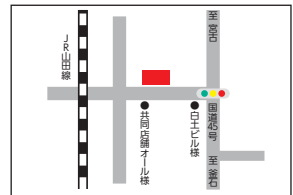


田老支店



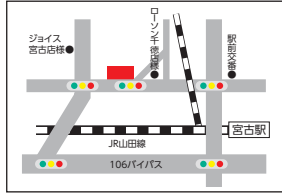
〒027-0307 宮古市田老1丁目3-4
 (宮古市田老総合事務所庁舎内)
 田老支店 TEL 0193-87-2555 FAX 0193-87-2556

山田支店・みやしん山田相談プラザ



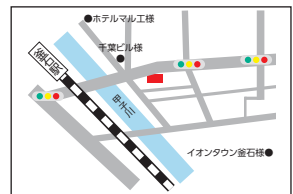
〒028-1332 下閉伊郡山田町中央町8-20
 山田支店 TEL 0193-82-2455 FAX 0193-82-2116
 (相談プラザの電話・FAX番号は、山田支店と同一です。)

千徳支店



〒027-0054 宮古市太田1丁目3-3
 千徳支店 TEL 0193-63-1311 FAX 0193-63-1312

大渡支店



〒026-0025 釜石市大渡町1丁目1-4
 大渡支店 TEL 0193-22-1405 FAX 0193-24-2109
 ・スポーツくじ払出し業務取扱店

店舗ATM・店舗外ATMのご案内

○店舗ATM取扱時間

店舗名	所在地	電話番号/FAX	平日	土曜日	日曜・祝日
本店	〒027-0082 宮古市向町2-46 ・スポーツくじ払出し業務取扱店	TEL 0193-62-1021 FAX 0193-64-4430	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
駅前支店	〒027-0082 宮古市向町2-46 (本店内)	TEL 0193-62-1021 FAX 0193-64-4430	—	—	—
	・駅前支店ATM 〒027-0084 宮古市末広町7-30	—	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
田老支店	〒027-0307 宮古市田老1丁目3-4 (宮古市田老総合事務所内、 ATM設置：道の駅たろう敷 地内)	TEL 0193-87-2555 FAX 0193-87-2556	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
山田支店	〒028-1332 下閉伊郡山田町中央町8-20	TEL 0193-82-2455 FAX 0193-82-2116	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
千徳支店	〒027-0054 宮古市太田1丁目3-3	TEL 0193-63-1311 FAX 0193-63-1312	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
大渡支店	〒026-0025 釜石市大渡町1丁目1-4 ・スポーツくじ払出し業務取扱店	TEL 0193-22-1405 FAX 0193-24-2109	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00

○店舗外ATMコーナー（共同含む）

店外自動機出張所名	平日	土曜日	日曜・祝日
西町出張所	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
河南出張所	8:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
みなみ出張所	9:00~20:00	9:00~18:00	9:00~18:00
佐原出張所	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00
マリンコープドラ出張所（宮古市小山田） ※毎月1日と15日は9:00~20:00	10:00~20:00	10:00~20:00	9:00~20:00
シーサイドタウンマスト出張所（大槌町）	9:00~18:00	9:00~18:00	9:00~18:00

駅前支店ATMコーナー移転のお知らせ

2025年4月24日（木）より、駅前支店ATMコーナーは宮古市末広町7番30号に移転しております。

地元の金融機関として、これからも、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



しんきん ゼロネットサービス

信用金庫のキャッシュカードは、全国の信用金庫が所有する自動機（ATM・CD）で、利用手数料が無料です

《ゼロネットサービスタイム》

●平日 8:45~18:00 お引出・お預け入れ

※上記以外の時間帯及び土・日・祝日のATMのご利用には所定の手数料が必要です。
※本サービスの対象とならない信用金庫ATMが一部ございます。





信金中央金庫

～信用金庫のセントラルバンク～

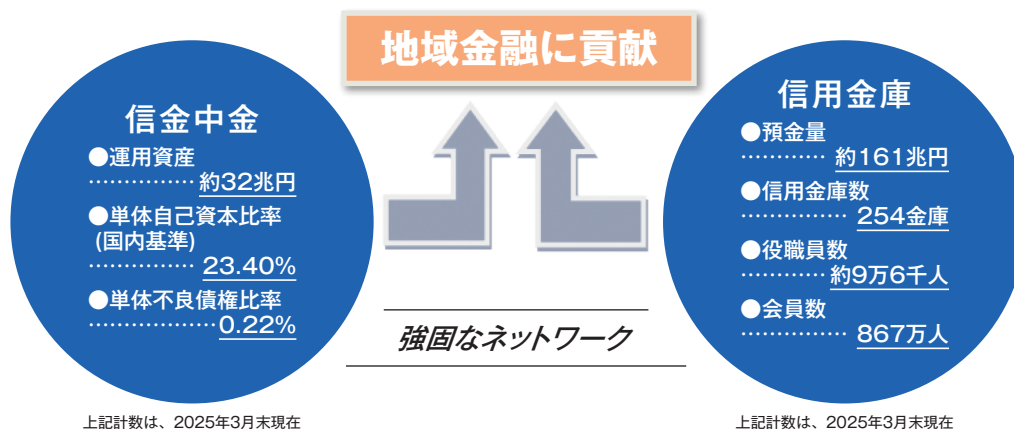
SCB

Shinkin Central Bank

信金中央金庫（信金中金）は、信用金庫の出資によって設立された協同組織の金融機関であり、全国の信用金庫を会員とする「信用金庫のセントラルバンク」として1950年に設立されました。

信金中金は、信用金庫の業務や経営に係るサポートのほか、信用金庫業界の資金運用機能などを有しております。

信金中金の2025年3月末現在の資金量は、信用金庫から預けられた資金と金融債を発行して調達した資金等を合わせて約32兆円にのぼっています。信金中金は、わが国有数の規模を有する金融機関であり、数少ない金融債発行機関でもあります。



信用金庫の多様な業務サポート

- ・中小企業のビジネスマッチングや海外展開のサポート
- ・個人の資産形成や相続に係る業務のサポート
- ・地域創生やデジタルの活用など

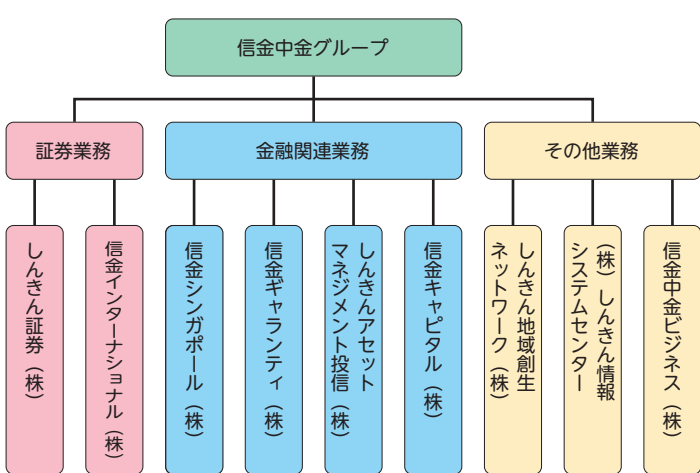
信用金庫の経営サポート

- ・信用金庫の資金運用・リスク管理のサポート
- ・信用金庫の業務効率化のサポート
- ・信用金庫の健全性確保に向けたサポート

信用金庫業界の資金運用

- ・信用金庫から預け入れられた預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や事業会社などへの貸出により運用

総合力で地域金融をバックアップ



邦銀トップクラスの格付

格付機関	長期格付
ムーディーズ(Moody's)	A1
S&Pグローバル・レーティング(S&P)	A
格付投資情報センター (R&I)	A+
日本格付研究所 (JCR)	AA

2025年3月末現在



MIYAKO SHINKIN

〒027-0082
岩手県宮古市向町 2-46
TEL : 0193-62-1021
FAX : 0193-64-4430
<http://www.miyashin.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。